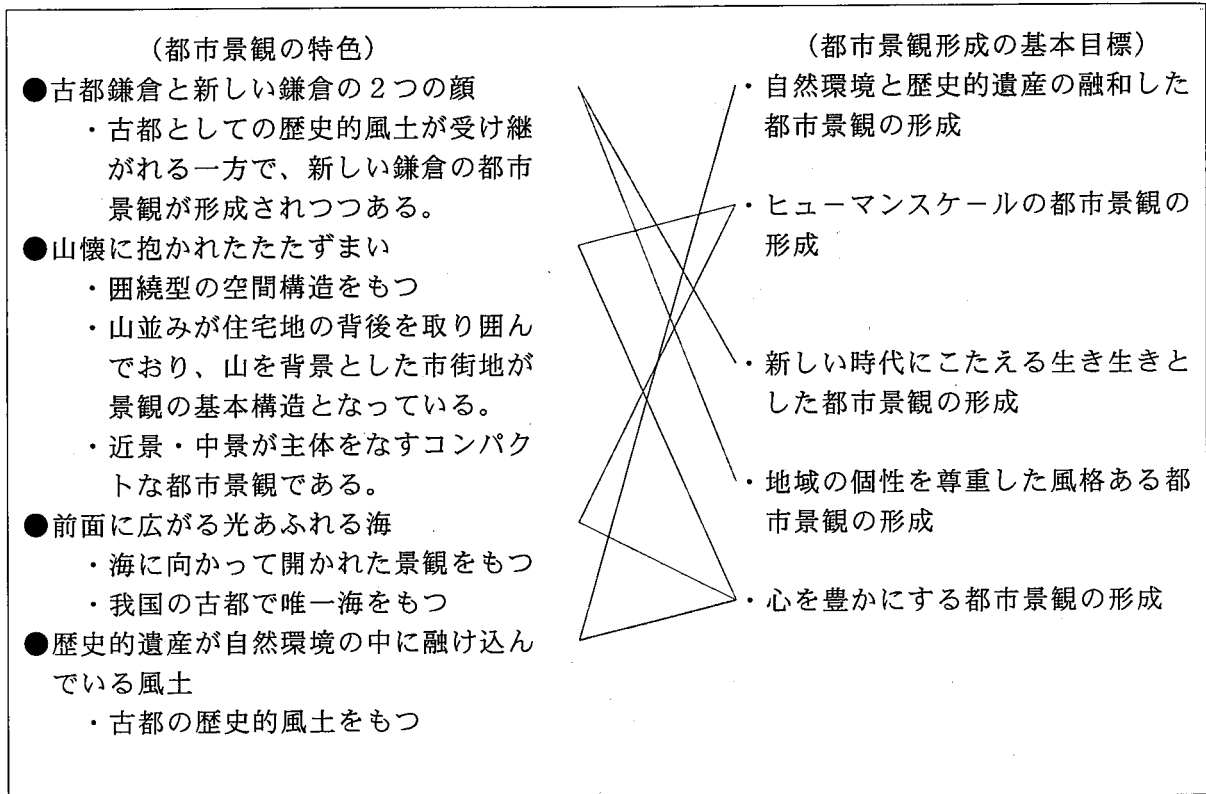


### 3-5 自然・歴史とまち並みが融和した都市景観の形成

#### 1) 基本的考え方

鎌倉市においては、平成6年8月に鎌倉市都市景観形成基本計画を策定し、次のような都市景観の特色を踏まえた基本目標と景観形成の方針を定めている。



「鎌倉市都市景観形成基本計画」に加筆

ここでは、都市景観の特色として示されている山・海の自然的景観や歴史的風土を活かすことを基本として、次のような計画項目を設定する。

- ・ 市街地を包み込む丘陵の自然的景観の保全
  - └─ 市街地の背景をなす自然的景観を保全する
  - └─ 郷土の景観が見渡せる眺望地点を確保する
- ・ 開放的で美しい海岸線の風致の保全・回復
  - └─ 美しい海浜景観を保全する
  - └─ 海岸線の風致を回復する
- ・ 歴史的風土を伝える緑地の保全
  - └─ 歴史的風土と結びついた緑の景観資源を保全する
- ・ 風格とうるおいのある市街地景観の維持・育成
  - └─ 都市景観にメリハリを与える緑を保全・創造する
  - └─ 風格とうるおいのある市街地景観を維持・育成する

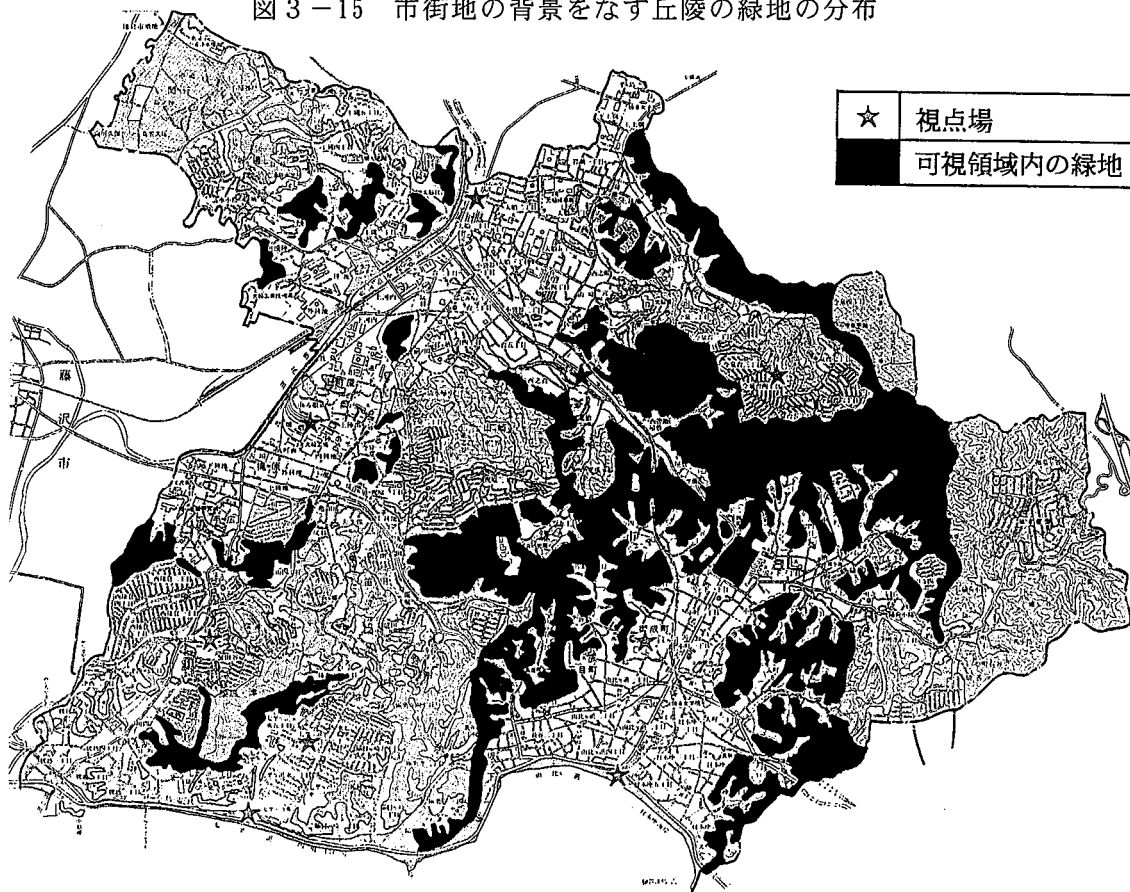
## 2) 緑の配置方針

### (1) 市街地を包み込む丘陵の自然的景観の保全

#### ① 市街地の背景をなす自然的景観を保全する

- ・市街地の主要地点（駅周辺、深沢地域国鉄跡地周辺地区、海浜）等から重層的に眺められる、市街地背後の四季の変化に富んだ丘陵の自然的景観を保全する。
- ・この場合、主要地点や市街地からスカイラインの自然景観が連続して眺められるよう、特に丘陵尾根部付近の緑地の保全を重視する。

図3-15 市街地の背景をなす丘陵の緑地の分布



#### ② 郷土の景観が見渡せる眺望地点を確保する

- ・緑に包まれた郷土の景観が見渡せる光明寺裏山、浄明寺、十二所、十王岩、長谷観音等の地点の緑地を確保し、眺望地点として整備する。

### (2) 開放的で美しい海岸線の風致の保全・回復

#### ① 美しい海浜景観を保全する

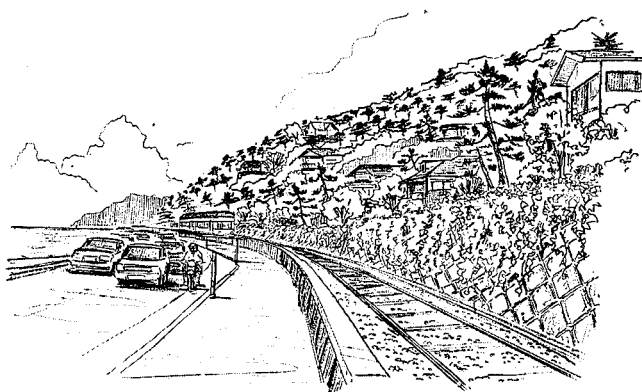
- ・材木座海岸から由比ヶ浜、七里ヶ浜、腰越海岸に至る海岸線について、稲村ヶ崎・小動岬の景勝地や美しい海浜の自然的景観を保全するとともに、この一帯の建築物等については、海岸線の風致を阻害しないよう配慮する。
- ・海浜からの江ノ島や富士山への眺望を確保する。

## ②海岸線の風致を回復する

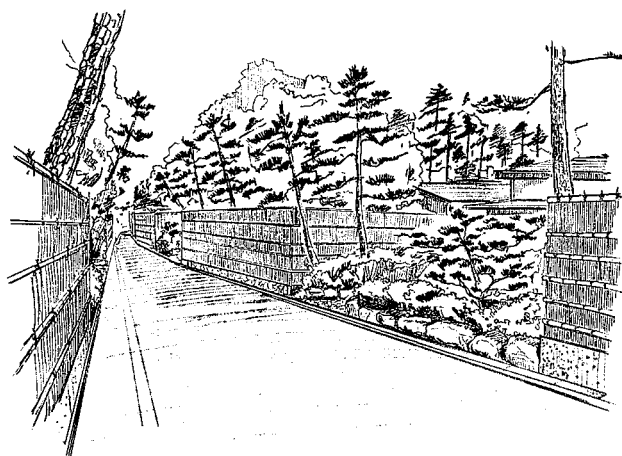
- ・稲村ヶ崎から腰越にかけての海岸線に残る斜面緑地を保全するとともに、国道134号沿いの建築物等については、海岸線の風致を阻害しないよう配慮して緑化を行い、斜面地の自然的景観の回復を図る。

〔海風に強い樹木を植栽し、将来的には樹間から建物が見えかくれするような景観を育成する。〕

- ・材木座海岸から由比ヶ浜にかけての海浜背後の市街地に対しては、海風に強い樹種による植栽・育成を図り、海辺の保養地としての風致の回復を図る。



七里ヶ浜の斜面緑地



由比ヶ浜・材木座の海浜背後の市街地

## (3) 歴史的風土を伝える緑地の保全

### ①歴史的風土と結びついた緑の景観資源を保全する

- ・古都鎌倉の歴史的遺産と結びついた緑地や、若宮大路、和賀江島、稲村ヶ崎等の史跡と結びついた鎌倉の歴史を伝える景観資源を保全する。
- ・上記以外の中世の古道や社寺、史跡と結びついた景観資源となる緑地を保全する。  
(古都の歴史的風土の保全・継承の項参照)

## (4) 風格とうるおいのある市街地景観の維持・育成

### ①都市景観にメリハリを与える緑を保全・創造する

#### ●市街地内での緑の景観軸を保全・創造する

- ・若宮大路の段葛や鎌倉山の桜並木などの景観資源となる緑を保全する。
- ・市街地を流れる水系のうち、柏尾川、滑川、神戸川、砂押川、梅田川、小袋谷川、新川等の河川空間を市街地内での緑の景観軸として位置づけ、河川環境の整備と沿川の緑の保全・創造を行う。
- ・主要な都市計画道路や計画宅地開発地内の幹線道路の緑化や緑のグレードアップを図り、市街地内での緑の景観軸を形成する。

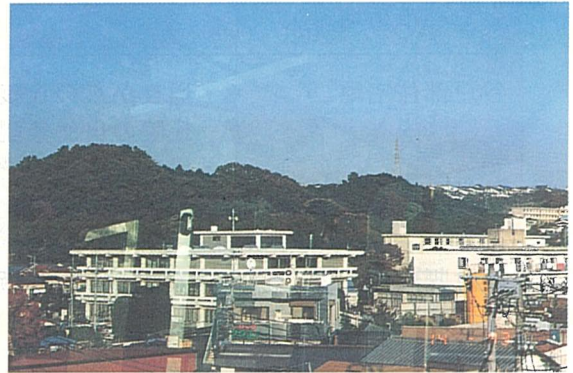
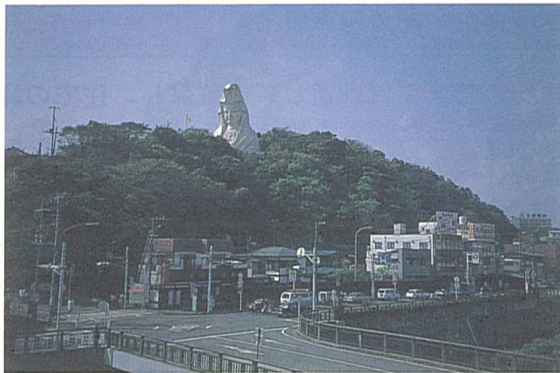
●若宮大路の沿道を修景する

- ・古都鎌倉のシンボル景観軸である若宮大路の沿道の緑化を推進し、参道にふさわしい市街地景観を創造する。
- ・沿道の緑化にあたっては、歩行者にとって目印となる街角の景観スポットの整備や民有地側の花等による緑化により、参道としての雰囲気醸し出す緑の演出等を行う。

●目印となる緑地を保全する

- ・JR東海道線、横須賀線、湘南モノレール、幹線道路等の主要動線から眺められる次の樹林地を、鎌倉を印象づける都市景観上の目印となる緑地、車窓景観を構成する緑地として保全する。

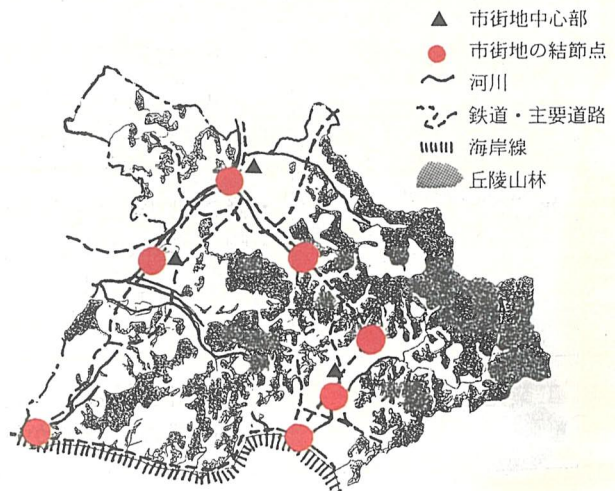
- ・一山形状をなす観音山、岡本、天神山、等覚寺の樹林地
- ・参道の正面に広がる鶴岡八幡宮一帯の樹林地
- ・車窓から眺められる植木、貞宗寺、寺分二丁目、手広（峯）、手広（大谷）、山崎、山ノ内地区の樹林地



●市街地の結節点や景観ポイントとなる場所に、市街地景観の質を高める魅力ある緑を創造する

- ・周囲の山々に囲まれた形で市街地の発達する鎌倉市にあっては、市街地の軸をなす河川、道路、鉄道及び海岸線などの交わる場所が、都市景観上の「結節点」として、街のわかりやすさやアピール性を高める上で重要な役割を果たしている。

図3-16 都市景観上の結節点及び景観ポイント



・こうした考え方に沿って、景観上の結節点や景観ポイントとなる次の場所に魅力ある緑を創造する。

- ・若宮大路、滑川と国道134号及び由比ヶ浜の海岸線が交わる滑川橋一带
- ・神戸川と国道134号及び東浜の海岸線が交わる神戸橋一带
- ・深沢地域国鉄跡地周辺地区に接する柏尾川沿い
- ・鎌倉の玄関口であり、柏尾川、JR東海道線、横須賀線、モノレール、県道が交わる大船駅一带
- ・鎌倉らしい山々の自然的景観が連なる北鎌倉一带
- ・若宮大路の正面に位置し、鎌倉観光の中心地である鶴岡八幡宮一带
- ・鎌倉の玄関口である鎌倉駅一带

② 風格とうるおいのある市街地景観を維持・育成する

・市街地類型毎の特性に応じて、次のような方針に沿った緑の保全・創造を行う。

市街地	緑の保全・創造の方針
谷戸部住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通りからの丘陵山林へのビスタ（見通し）を確保し、住宅の緑と丘陵の自然景観が一体となった情景を維持する。</li> <li>・屋敷林や生垣を保全し、緑の中に建物が見えかくれするような景観を維持する。</li> </ul>
鎌倉既成市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入り組んだ細街路と生垣・垣根・住宅の緑が融け合う趣のある情景を維持する。</li> <li>・敷地の細分化を防ぎ、屋敷林の続くまち並みを維持する。</li> <li>・海岸線沿いについては、海辺の住宅地、保養地としての風致を回復する。</li> </ul>
丘陵の計画宅地開発地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接道部の緑の連続性の確保、高木植栽などにより、緑量感のある整然としたまち並み景観を育成する。</li> </ul>
スプロール市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接道部を中心に建物敷地に合わせた緑化を誘導し、まち並みの緑視を高める。</li> <li>・地区内の道路や河川沿いを修景する。</li> <li>・市街地内に残る樹林地を保全する。</li> <li>・市街地景観を高める公園や公共施設の緑化を行う。</li> </ul>
商業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修景効果の高い緑をもつ駅前広場を整備する。</li> <li>・駅と主要施設等をつなぐ景観軸となるシンボルロードを整備する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>大船駅 ——— 鎌倉芸術館</li> <li>深沢地域国鉄跡地周辺地区 等</li> </ul> </li> </ul>
工業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏尾川を軸とする緑の景観軸を創造する。</li> <li>・接道部の緑を豊かにし、緑に包まれた工場景観を創出する。</li> </ul>

図3-17 自然・歴史とまち並みが融和した都市景観の形成に資する緑の保全・回復及び創造

